

令和7年度 児童アンケート結果 (%)

全校児童対象

質問	R7 3学期
①タブレットを上手に使ったり、友達と話し合ったりして、楽しく学ぶことができているですか？	95%
② 見学や体験学習を通して、「よくわかった!」「すごいな!」と思えることがありましたか？	99%
③ 勉強のルールを守って、学んだことがしっかりと身に付いていると感じますか？	97%
④ 友達の気持ちを考えて、やさしい言葉で話をしたり接したりしていますか？	96%
⑤ みんなが良いところを認め合って、自分らしくいられていますか？	97%
⑥ 生活の中で「おかしいな」と思うことに気づいたとき、解決しようとしていますか？	87%
⑦ 先生は、あなたのことをよく分かってくれて、教え方を工夫してくれていると思いますか？	97%
⑧ 自分なりのめあてを持って、活動に取り組んでいますか？	91%
⑨ ITスタジアムや体育の活動などで、進んで体力づくりをしていますか？	92%
⑩ 「早ね早おき」や「家での勉強」など、正しい生活しゅうかんが身についていますか？	85%
⑪ 進んでみんなのために動くことができますか？(そうじの時間など、いろいろな場面で)	93%
⑫ 先生は、困ったりなやんだりしたときには、話を聞いてくれますか？	96%
⑬ 避難訓練などを通して、自分の命を守るための勉強ができていると思いますか？	98%
⑭ 学校の道具や教室などは、安全で、きれいに整えられていると思いますか？	93%
⑮ 地域の人たち(公民館の人など)と一緒に活動する機会があると思いますか？	89%
⑯ お家の人、地域の人、学校の先生が協力して、みんなを支えてくれていると感じますか？	99%
⑰ ホームページや学校だよりで、学校の様子がよく伝わっていると思いますか？	93%

90%以上

80%以下

※タブレットを使って実施。4件法（④当てはまる③だいたい当てはまる②あまり当てはまらない①当てはまらない）で回答。上記は、肯定率（④③と回答）の割合。

◆全体的な傾向:高い満足度と良好な教育環境

今回のアンケート結果では、17項目中14項目において肯定率(「当てはまる」「だいたい当てはまる」の合計)が90%を超えており、全体として児童が学校生活に対して非常に高い満足感と充実感を抱いていました。特に、学習面、人間関係、安全面、そして地域・家庭との連携において、良好な数値を示していました。

◆顕著な成果と強み

- ・ 家庭・地域・学校の強固な連携「お家の人、地域の人、学校の先生が協力して支えてくれている」という項目(⑩)が99%という極めて高い数字を記録しています。このことから、周囲の大人たちに見守られているという安心感が児童に深く浸透していることが伺えます。
- ・ 実感の伴う深い学びと個別最適な教育「見学や体験学習を通じた理解」(②)が99%、「先生の教え方の工夫」(⑦)が97%となっており、教員の授業改善が児童の「わかった!」「すごい!」という知的好奇心に直結していることが伺えます。また、タブレットの活用や友達との対話(①)も95%と高く、ICT活用と協働的な学びが定着しています。
- ・ 安心・安全な学校環境と自己肯定感「自分らしくいられる」(⑤)が97%、「先生が悩みを聞いてくれる」(⑫)が96%であり、心理的安全性が確保されていました。また、避難訓練等を通じた命を守る学習(⑬)も98%と高く、安全意識の高さも特筆すべき点として挙げられます。

◆課題と改善に向けた視点

全体的に高い数値でしたが、相対的に肯定率が90%を下回った項目もあります。今後の指導のヒントにしたいです。

- ・ 生活習慣の定着(項目⑩:85%)「早寝早起き」や「家での勉強」といった基本的な生活習慣については、全項目の中で最も低い数値となりました。今後は、家庭と連携して児童が自律的に生活できるよう、働き掛けを継続したり、児童が計画的に時間を使う力を育てる工夫をしたりしていきます。
- ・ 社会的な課題意識と問題解決能力(項目⑥:87%)「おかしいなと思うことに気づき、解決しようとする」姿勢が他の項目に比べやや低くなっています。日常の些細な違和感や社会の課題に対して、受動的ではなく主体的に関わっていくよう指導していきたいです。
- ・ 地域活動への参画意識(項目⑮:89%) 地域に支えられている実感(⑩)は非常に高い一方で、自らが地域の人と一緒に活動しているという実感はわずかに90%に届きませんでした。支えられる側から、共に活動する主体への転換を促す機会(公民館等との連携)を更に充実させていきたいです。